

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年5月10日

事業所名 児童発達支援 marcher(マルシュ)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・活動内容に合わせてスペースを分けている。 ・定期的に室内の配置替えなどスペースを確保している。	・限られたスペースの中でしっかり安全を守り、支援が出来るように日々の工夫を怠らないように心がける。
	2	職員の配置数は適切である	3	2	・送迎や集団活動で配置を話し合っている。 ・マンツーマンに入ると配置が弱い	・マンツーマンで配置数を取られてしまう際は職員数を確保し、支援に影響がないようにする。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	・おもちゃの位置や靴箱、ロッカー等それぞれまとまっていたりわかりやすい。段差などの障害も少ない。 ・バリアフリー化はしていない。	・バリアフリー化はしていないが、子どもの目線で情報が入るように工夫する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・室内の掃除やおもちゃ等の消毒などは定期的に行っている。	・常に安全、安心な空間作りを心がける。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		・集団活動の振り返りや計画で活用している。	・日々の目標設定はしっかり行い、同様に振り返りも納得できるまで行い、次につなげるように努める。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・アンケートの実施や保護者からの情報を職員間で共有して改善につなげている。	・アンケートの実施や保護者からの情報を職員間で共有し、迅速に改善へとつなげていけるように努める。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	・より親しみやすい会報やホームページを目指している。	・会報やホームページを作成し事業所内の見える化に努める。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	・外部評価の重要性をより深めたい。	・外部評価の重要性をより深め、改善につなげていくように努める。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	・他事業所とつながり、研修の情報を共有している。 ・全体での研修や会議等で意見交換をしている。	・常に職員の質の向上を心がけ、関係機関での研修等に積極的に参加する。
適切な支援の場	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	1	・アセスメントを基に職員間で共有し作成を行っている。 ・担当者会議やモニタリングを実施している。	・アセスメントを基に、子どもと保護者のニーズや課題を分析できるように全職員参加で会議を開催し計画書を作成する。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・契約時に記入してもらい活用している。	・標準化されたツールを使用し、常に情報は新鮮さを求めていくよう心がける。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・会議等を開催し決定している。	・児童発達支援ガイドラインの情報は職員間で共有できる環境作りを徹底する。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・児童の個性に着目して支援を行っている。 ・計画書を随時確認しながら行っている。	・児童発達支援計画の情報は職員間で共有できる環境作りを徹底する。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・職員同士、互いに知恵を出し合っておりプログラムを考えている。 ・動・静活動と分けて工夫している。	・活動の目的を見失わないように会議等で、意見を出し合っている。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・多様なプログラムはもちろん、同じプログラムでも内容を改善している。	・会議を開催し、話し合いで決定する。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年5月10日

事業所名 児童発達支援 marcher(マルシュ)

提供	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		・職員の多様な視点に基づいて計画を作成している。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年5月10日

事業所名 児童発達支援 marcher(マルシュ)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・毎朝、会議で打ち合わせを実施している。	・朝礼の時、もしくは数日前から計画をして支援内容を話し合う。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		・会議等でじっくり前日の振り返りをしている。 ・毎日、話し合いの中で情報共有し振り返りを行っている。	・後日には必ず振り返りを実施し、問題等があれば、解決方法を探り、情報を共有する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・支援の記録は当日のうちにまとめて職員同士で話し合っている。 ・個々の記録(利用日)は必ず記載している。	・記録は毎日行い、検証や改善につなげ、情報は職員間で共有する。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・常に児童の変化に注目をし、支援計画を改善している。 ・その都度、開催している。	・日々の記録や職員の情報を基に評価を出し、定期的な見直しを行い、児童発達支援計画の必要性を判断する。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・会議に参加してなくても支援の中から有益な情報を伝えられるよう努めている。	・担当者会議の前に全職員参加の会議を開催し、支援の中から有益な情報を伝えられるよう努めている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		・関係機関からの情報を職員間で共有している。	・関係機関からの情報を職員間で共有し、スムーズな連携で支援につなげる。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・児童の特性について理解を深め必要な支援を職員同士で共有している。	・関係機関との連携した支援を徹底する。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	1	・会議を開催して情報共有を行っている。	・関係機関との連携した支援を徹底する。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・学校等への送迎の際に支援内容について情報交換をしている。 ・会議や送迎時等で、情報共有を行っている。	・支援者会議に参加し情報共有と相互理解を図る。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・会議等に参加し、共有、提供を行っている。	・支援者会議に参加し情報共有と相互理解を図る。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・会議等に参加し、情報共有を行い連携している。	・支援者会議に参加し情報共有と相互理解を図る。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	・機会を作り交流ができればと思います。 ・公園等への外出で様々な子どもとのふれあいがある。	・野外活動で、交流を広げていくようにする。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5	・会議等に参加し、情報を増やしたい。	・機会があれば積極的に参加する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・送迎の際、保護者との情報交換もしている。 ・日々の様子を口頭やお便り帳などで伝え合う事ができている。	・より詳細に出来るよう心がける。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	・保護者との信頼関係を築き、家族支援を行っている。	・ペアレント・トレーニング等の支援が出来る環境作りに努める。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年5月10日

事業所名 児童発達支援 marcher(マルシュ)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・契約時に説明を行っている。	・丁寧な説明を心がける。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・会議等を開催し、情報を共有、話し合いで計画を決定している。	・常に保護者とも相談しながら、支援内容の同意を得られるように努める。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年5月10日

事業所名 児童発達支援 marcher(マルシュ)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・保護者からの相談があった際は対応を行っている。	・保護者からのご相談には適切に応じられるように、また相談しやすい環境作りにも努める。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	・コロナ禍で開催できていなかったが、今後は開催していきたい。	・開催できるように努める。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・保護者からの相談は迅速に職員間で共有し適切な対応を心がける。	・子どもや保護者からの相談は迅速に職員間で共有し適切な対応を心がける。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・親しみやすい会報を心がけ、参加したくなる行事を立案する。 ・月1回、便りを配布している。	・定期的な発信を心がける。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・個人情報に関する資料は慎重に扱っている。	・個人情報に関する資料はより慎重に扱うよう徹底する。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・誠意ある対応に努めている。	・一人ひとりにあった配慮を心がける。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		・コロナ禍で開催できていなかったが今後は取り入れていきたい。	・巻き込んでいけるようなイベント等を考え、実行できるように努める。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		・年に数回実施している。	・年間行事として実施すること、保護者への周知徹底。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		・年に数回実施している。	・年間行事として実施すること、保護者への周知徹底。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		・家族と状況等確認しながら行っている。	・確認を怠らず、スムーズに連携ができるように心がける。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		・情報を共有し、対応している。	・より詳しい対応方法の研修があれば参加できるようにする。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・ヒヤリハット事例集をファイルして共有している。	・ヒヤリハット事例集のファイリングで留まらず、情報共有を行い、常に安全・安心を心がける。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・他事業所と連携して研修の情報を共有している。	・研修は年間行事として実施する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		・対応の仕方について会議等で話し合い決定している。	・子どもや保護者に事前に説明し、了解を得た上で児童発達支援計画に記載する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。